

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ④観光等分野 (3/6)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
千年の草原の継承と創造的活用総合特区(阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町)	4.1	4.5 進捗度 ・草原管理面積、野焼き再開 牧野数 99% ・牛馬の放牧頭数 《定性的評価》 ・観光入り込み総数、阿蘇地域の宿泊客数 《定性的評価》 ・あか牛肉料理認定店数 96% ・草原体験利用者数 《定性的評価》	3.8 財政支援等 ・生物多様性保全推進交付金事業 地域独自の取組 ・ASO環境共生基金事業 ・入湯税収観光活用事業 等	4.0	<p>・阿蘇の草原の価値は世界的なものであり、それを守ることにより地域の農業を守り、観光産業の振興にもつながる。災害等に見舞われながら、対応策を講じて成果に結びつけ取り組む姿勢は高く評価されてよい。</p> <p>・あか牛肉料理認定店数は、来訪者の期待値が高い食の要素で今後に期待する。</p> <p>・近年の入湯税の配分変更による草原維持管理事業への資金充当、草原文化のカルデラ地形との関係の解説冊子の作成、教育旅行プログラムの造成、認定ガイドの資質向上及び草原を活用した体験プログラム案の作成といった取組は、「草原とつながる観光スタイルの創造と資金環流の仕組みづくり」に貢献する。今後、さらなる前進を期待する。</p> <p>・金融支援の活用が乏しいが、保存継承のための財源確保とマネタイズの工夫が求められる。</p>